

「第3回佐久地域こどもまつり」アンケート集計（意見は抜粋）  
2021年12月15日

質問1：どこでお知りになりましたか。

次第参照

質問2：2-1 サヘル・ローズさんの講演に関して

とても良かった：23

良かった：3

無回答：1

聞けなかった：1

質問3：2-2 サヘル・ローズさんの講演に関してご感想をお書きください。

以前、サヘルさんのこれまでと現在の活動についてのテレビ番組を観ました。ご自身の体験から生まれた活動への思いの力強さに打たれ、もっとお話を聞きしたいと思っていたところこのイベントを見つけ視聴しました。人生で得る体験は一人ひとり違って当たり前。それを前提にした人付き合いにならないのが今の日本社会なのかななど思ったりもしました。

サヘルさんと若い人たちの話を聞いて、少しずつ変わっていく世の中が期待できそうな…。

コロナ禍で時間を持て余しても掃除もせずに座って寝転んでしまい、いまだに昔読んだ漫画の事が忘れられず、過去を振り返っているばかりの私には大変耳の痛いお話で、年金生活に入っても、何かをやってやろうという気概を持ちたいと思いました。

亡くなった父親は今の私ぐらいの歳に家業は長男に任せて、生まれつき耳の聞こえなかった兄の働く場を作ろうと昔コックだった経験を生かしてレストランを開業したことは今考えれば凄いことだったと思います。

こないだAIの展示会に行ったら、英語の個人トレーナーをするAIを早稲田大学が開発していて、おそらく多言語で宿題を見てくれるAIが登場するのもそう遠い事とは思えませんが、やはり教育は点数や効率に縛られないで周囲の人間と交流の中でやるのが一番だと思います。

いつも思いますが、生きてきた経験の中から出てくる言葉には重み、深み、輝きがあり、いくつも心に残りました。高校生との対話の中にもたくさんの貴重な言葉があり、心に届きました。助け合う、気遣い合う、支援を支配にしないそういう世の中をつくりていきたいです。

質問4 3-1 多文化をもつ子ども達の声を聴くに関して

とても良かった：22

良かった：3

無回答：1

テーマが決まっていないのでいろいろとんだ：1

聞きづらかった：1

質問5：3-2 多文化をもつ子ども達の声を聴くに関して、ご感想をお書きください。

素晴らしいかったです。質問も的確で一人一人の答えも勉強になりました。

声が聞き取りづらかった。子供たちがしっかり意見を持っていてよかったです。

一言で「多文化を持つ子ども」と言つてもそれでいて本音が異なります。親の都合で未だし、日本の学校で学ぶ子どもたちの支援に携わっている身として、当事者の声は是非とも聞いてみたいことでした。教育の問題に触れる場面もありましたが、ICTの遅れを嘆くものから学校へ通えることが幸せというものまで、世界の子どもが置かれてる現状が多様過ぎて、なかなか深まらないという感じもあります。その中で、いま自分はこの信州で何ができるか。まずは「知らない」がゆえに起きる感情のわだかまりをほぐしていく、そのきっかけの一つになれればと思いました。

一人一人が自分の意見をはっきり持っていて、とても素敵なお討論会だとと思いました。

次回は、もっと広い会場で日本人の先生や生徒を招いて佐久市に止まらず、全国的にネット配信できれば素晴らしいと思います。きっと「わかるわかる、あるある」の共感が全国のダブルやクアッド?の若者達に広がり、異文化交流にもなると思います。

高校生たちの発言や流れや意見交換が新鮮で、経験談があり他では聞けない、この場だけの「共有」「臨場感」があり、よかったです。やっぱり、高校生の意見を世の中に活かせるような社会にならないと。

小学校で日本語教室を担当しています。私が受け持つ子どもたちの未来の姿がありました。少しでも、近づけるように頑張りたいと思いました。

質問6：4-1 こども達のエンターテイメントについて

とても良かった：11

良かった：3

無回答：6

質問7：4-2 こども達のエンターテイメントについて、ご感想をお書きください。

子どもが小さいので、今回は少しひにけが参加しました。ひにけ、子ども向けエンターテイメントは不要だったかな、それならお子さんたちの声をもっと聴きたかったというのが正直なところです。

高校生のディスカッションの後に流れていた映像を示しているのでしたら、素人芸が全面に出ていてかえって面白かったです。

肩の力が抜ける楽しいエンタメでホッとできました！

工作などわかりやすかったです。

質問8： こども達の為にこの地域にあったら良いのにというサポート等はありますか。

これらの地域の事は本懸念に力が付かなくなるのですが、私自身が学校の居場所作りや読み聞かせ等のボランティアをしています。

いじめや家庭環境が悪い子や、そこまでいかなくてもどことなく居場所が無いと感じている子、サヘルさんのように外国から来て言葉が分からない子、勉強のサポートが必要な子供達が、安心して集え、気楽にガス抜きや相談や勉強のサポートが出来る場が日本中にあればいいと思います。

以下の質問にあまり思わない返答したのは、私は北海道の地元で今後もお手伝いをしていきたいと思ってるからです 重しからずです

多文化の子ども達がしてきた交流する場が、色々な年代であるといいなあと思いました。

子ども食堂はそんな場でもありますね。不登校の子ども達のことが気になり、佐久のフリースクールの方々にもプラットホームのことを伝えました。また様子をお聞きしてみます。

いろんな文化背景を持つ子どもたち、特に我が家としては未就学児～小学校低学年が集めて楽しめるイベントを開催してほしいです。学校外にもそのような友人ができると親世代にも大きな支えになると思います。

既にあるかもしれません、精神的な面をサポートするカウンセリングや希望者に日本語学習のサポートなど全て無料で受けられるものがあればと思います

「こども」たちの (of)、「こども」たちによる(by)、こどもたちのための (for) の、 OfByFor プラットフォーム。

子供に限らずですが、然るべき所で日本語をきちんと学べる環境は大事だと思います。やはり日本語特に漢字の読み書きを教える放課後教室や親たちのための夜間学校

子どものアドボカシー

質問9：6-1 佐久地域こども応援プラットフォームに関心があり何かお手伝いをしてみたい。

少ししてみたい：6

大いにしてみたい：8

無回答：7

あまり思わない：3

質問10：6-2 大いにしてみたい、少ししてみたいとお答えくださった方がは、どのような活動に興味がありますか。お書きください。

気持ちが先走って、技量・経験がないのですが、日本語→英語のコミュニケーションにお困りの方や、宿題のお手伝いなどならできるかなと思いました。（海外に10年以上住んでいたので英語なら話せます。）

まずは地元で出来ることをやる、佐久の皆さんの活動もこういったイベントなどを通じて関わっていければと思っています

まだ活動内容が良くわかっていないので そこからです

食について、学用品、居場所つくりについて

5の取り組みのためのアドボケイト。

キッズヨガ

